

広報よもぎた

内容

- 村長から……………2
- あたらしい先生の紹介……………3
- 民生課から……………4～5
- 教育委員会から……………6～7
- 昭和61年度決算……………8～9
- おしらせ……………10
- 談話室……………11
- こせきの窓口……………12

NO. 162



うまい！これが蓬田牛だ

10月

昭和62年

九月十五日、高い秋空の下で「牧場祭り」が開催されました。

昨年は雨のためお流れとなり、今年が実質第一回目の開催となったものです。

心配された雨もなく、会場となった村営牧場には村内外から約一千人の老若男女が訪れ、「蓬田牛」に舌つづみを打ちました。

肉は、祭りの始まる前に開催された畜産共進会で、審査員から「良い牛が出来ているこれなら立派に蓬田牛」と保証付きです。

催しは、「今日一日おおいに楽しんで下さい」と八戸村長のあいさつの後、「牛の体重当てクイズ」や「宝探し」「牛乳早飲み大会」「干し草投げ大会」「カラオケ大会」と進み、内容豊富で集まったお客さんは大喜びです。

「蓬田牧場祭りどうでしたか」の質問には、皆様が「空気はいいし、眺めも良いし、肉は特上です」との答えでした。

行政を担当して

蓬田村長 八戸良次郎

村民の皆様、改めて御挨拶を申し上げます。
五月一日から役場に登庁し、種々行政を担当して参りました。

多様化する社会情勢の中で行政の最先端にある役場の仕事も年々増大して参ったと思うものであります。村民皆様の御支援、御協力を得て任期中一生懸命働くつもりであります。

なんと言ってもわが村は、
農業、漁業を主体に経済基盤が成り立っており、これに農業・サラリーマンからも、漁家の副業収入を加えて村財政の面で大きな御協力を生活営んでいるわけであり賜っているのですが、明るい



村づくりの為に全村挙げて頑張る。鍋底景気もこの辺で返上、張って行かなければならないと考えております。

役場職員も、一生懸命村民の奉仕者としての自覚を持ち努力をしております。

他町村に負けない誇れる村となる様に、教育の面でも教育委員会とこれから更に対策を練り直して行こうと思っております。

諸施策の面でも、自分達でやれるもの、行政の面でやるもの等も区分して対応すべきものと考えています。

高齢化社会に向けて、そして二十一世紀に向けて、老若男女共々村行政振興の為大きな力を貸して下さいさる様心からお願いを申し上げます。

●農業振興について

農業振興に例をとると、米の減反は、昭和四十五年（試行的？）以来実施され、米作主体のわが村も、農民の生産意欲が減退し、その間、昭和五十五年からの連続四ヶ年の

冷害は、農家の負債を増大し、その後遺症に悩まされて現在に至ってきましたが、今年からは、転作奨励金の減、転作面積の増加と二重のパンチを受け、農家の経済は極めて苦しい立場に立たされてきてい

る。鍋底景気もこの辺で返上、幾らかずつでも堅実に景気が上向く事を願って止まないものであります。蓬田村は、先

にもものべた通り、農業振興に主力を注ぐべきで、環境不良（ヤマセが強い）な地域だけに、畑作やさいに對して、ハウス栽培による（施設園芸）

各種やさいを組み入れ農業所得の向上を強力に進めたいものであります。芽生えているトマト、メロン栽培等、かなり技術的にも向上してきていることは誠に喜ばしい限りであります。これを契機に、日

雇、出稼ばかりに頼らず、各家庭の労力の配分を考えながら、老人向、婦女子向きなどの作物は何か、地力の増強対策を考えながら、肉用牛の飼育増をはかり、複合経営による

安定経営を求め前進前進で行かねばなりません。村民の皆様の強力な御協力を賜りたいものであります。

●広報について

「広報よもぎた」も、しばらく途絶えていましたが、これからは、紙面の充実につとめ、住民と役場を結ぶ唯一の機関紙として発行を続けますので、よろしくお願い申し上げます。

紹介

八戸村長が、9月のある日、何やら紙をもって庁内に配布していました。僕達は、何をしていたんだろうと見ていたが、それはノーベル物理学賞受賞者江崎玲於奈さんの次のコピーでした。
（*印 村長注）

5つの戒しめ

- 一、今までの行きがかりにとられ過ぎてはいけません。
 - 一、過去の延長ばかり考えると飛躍の機会を失う。
 - 一、他人の影響を受けすぎではない。
 - 一、無用のものは、捨てなくてははいけません。
 - 一、記憶の容量は限られていますから、つまらぬ事は忘れる。つまらん友人も捨てる。
（*手きびしなあ！）
- 一、戦いを避けてはいけません。新しいものはとかく足を引く張られるが、それをはね返す独立精神と勇氣がいる。
- 一、最後に、これでいいんだという満足感をもってはいけません。

あたららしい先生の紹介

① 前任校
② 現任所
③ 蓬田村の印象・抱負



蓬田小学校 教諭 金谷 卓俊

① 蟹田町立小国小学校
② 青森市大字四戸橋字磯部二四、
③ 本校が所在する阿弥陀川地域の学校への通路が、小学校教育の拠点施設が唯一しかないので、途中通路で見うけ

る見知らぬ人々にも、挨拶を交わしてくれる学区の印象は、実に新任教師の不安に、心機意欲をかきたて、地域に生きる人々の相互の連帯感を深める。
幼、小、中の一貫教育が協

力的で、連携を密にして推進されている。父母や、地域の人々と語り合う機会を経た今、「学校づくり」と「地域づくり」とが相互補完し合っており、学区全体の活気ある地域である。

小学校教育の使命は、人間形成の基礎づくりの段階で、伸びいく糧（教育内容）を個々の子どもにがっちりとしにつけさせなければならぬ。子どもと共に学び、伝統ある学校づくりに努めていきたい。



蓬田小学校 教諭 穴水千鶴子

① 東通村立砂子又小学校
② 青森市大字三内字沢部四一の九
③ 緑の山々、東に広がる青い海、豊かな自然に恵まれたここ蓬田村。こんな環境のせいでしょいか、子どもたちは

素直にのびのびと育っています。素直ということは、学ぶ者にとって、大変大きな素質だと思えます。そして、こうした素質を持った子どもたち、子どもたちがどれだけ伸びるかは、私たちの頑張り方しだ

いという気がします。良くないも悪くなるも私たちがしたいと思うと恐いような気もしますが、それだけに頑張りがあります。どの子がどんな可能性をもっているかは、また、わかりませんが、できるだけ、

その可能性を見つけ出し、大事にしていきたいと思えます。小規模校からの転任で、いろいろと戸惑うこともありますが、こんな気持ちで頑張りていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願い致します。



蓬田小学校 主事 大宮 仁

① 今別町立今別中学校
② 蟹田町大字小国字坂元二七九
③ 水が満々とたたえられ、輝くほどの陽光に守られる、すばらしい水田地帯に囲まれた蓬田小学校は我母校。本校では、たった六ヶ月しか学び

ませんでした。見るもの全てがなつかしく思われました。今までは中学校だけの勤務経験でしたので、勝手が違い戸惑うことも多く、失敗の連続です。それでも、職場の皆さんの暖かい思いやりで毎日

楽しく過ごしています。赴任以来、素朴で明るい子ども達と接してみても、蓬田っ子の成長に大きな期待を抱くとともに、自分自身も本校で働くことの重い責任を感じております。

微力ではありますが、心を新たに頑張りたいと思っています。よろしく願っています。



蓬田中学校 教頭 宮本 昭七

① 青森市立新城中学校
② 蓬田村大字蓬田字宮本
四一の二二七
③ はじめて蓬中に来たとき、部活動が何かで門のところにはいた生徒が、一斉に「こんにちは!!」とびっくりするくら

い大きな声であいさつをしてくれました。新任という張りつめた気持ちが、一っしゅんにどこかへいってしましました。そしてさわやか気分になったのです。道で行き交う人達もみんなあいさつをし合っ

ています。これが蓬田全村あけての「あいさつ運動」なのです。「あいさつ」は互いの心を開いてくれるものです。気持ちをなごませてくれます。そしてまた、互いに助け合い、協力し合うきっかけを作っ

くれるものです。これからは、蓬田はもとより、日本全国に、ひいては世界の全人類に、心をこめてあいさつをして、平和で豊かな二十一世紀に生きる蓬田村民を自覚して指導していきたいと考えています。

つらくても 今日もがんばれリハビリを

機能訓練事業スタート



蓬田村が抱える村民の健康問題の一つとして、脳卒中や高血圧症の患者が多いという状況があります。

特に、働き盛りのお父さんやお母さんが脳卒中などで倒れることは、一家の大黒柱が倒れることであり、その家族にとっては、経済的にも、精神的にも、子供の教育にも、さまざまな面で大きな問題を残すこととなります。

当村では、脳卒中の後遺症を持つ在宅患者が多いこともあり、患者からの要望が強かった、地域での機能訓練教室を十月から、毎週一回開設することになりました。

患者のみなさんは、病院に入院中は機能訓練を受けることができません、退院後に訓練を継続する場がないという状態でした。『病気を克服しながら希望を持って生きたい』『家庭や地域の中で精いっぱい努力し、生きがいを感じて生活したい』『病気前の状態に少しでもどりたい』という切実な思いが患者のみなさんにあります。

この機能訓練教室が、単なる訓練だけでなく、患者やその家族の交流の場となり、生活に意欲を持つことができるようになればと考えています。

機能訓練教室要項

●目的

心身の機能が低下している者であって（当面は脳卒中後遺症者とする）、医療終了後も継続して機能訓練が必要な者に対し、心身の機能維持増進を図るため軽易な訓練を行い、日常生活の自立を助けることを目的とする。

●ねらい

- ① 医師の指導を得て、個人に適切な訓練を行い、日常生活の改善を図る。
- ② 患者相互の交流を通して生活に意欲を持たせるとともに、患者や家族の交流、相談の場とする。
- ③ 教室へ参加することにより、社会への関心を向ける。

●実施内容

- 機能維持の訓練と、日常生活をできるだけ一人で行えるような訓練に重点を置き、おむね次に掲げる内容を行う。
- ① 基本動作訓練
- ② 日常生活動作訓練
- ③ 手工芸
- ④ レクリエーション

- ⑤ 患者とその家族の交流
- ⑥ 個別相談

●対象者

脳卒中後遺症者で、次の基準にあてはまる者

- ① 医療終了後も継続して訓練を行う必要がある者
- ② 身体機能に支障があるにもかかわらず、必要な訓練を受けていない者
- ③ 開設場所へ通所できる者（送迎バスに自力で、または介助があれば乗り降りできる者とする）
- ④ 原則として、主治医の了解を得た者

●実施方法

- ① 従事者
 - 医師（各患者の主治医と連絡票により訓練に関する助言や、注意すべき事項などの指導を受ける）
 - 理学療法士
 - 看護婦
 - 保健婦
 - 送迎バス介助者
 - 衛生担当者
 - 運転手
- ② 実施回数
 - 週一回（金曜日開設）

月一回は理学療法士による訓練指導、訓練進行状況の評価、個々のプログラム調整を行う。その他の実施日は自主訓練とする。自主訓練の日は、個々のプログラムによる訓練のほか、レクリエーションや

指先の運動などになる手工芸、遊具を使った集団ゲーム等が入る。

③開設場所

●農業者トレーニングセンター
●老人憩の家

④送迎

送迎バスを運行。バスの乗り降りは参加者の自宅前とする。(介助者を乗せて運行)

⑤訓練の期限

個々の訓練終了期限は定めず、対象者の状況により判断する。

参加申込み

機能訓練教室への申込みはいつでも受付しています。希望者は、民生課衛生係まで連絡ください。

●電話27・1111
内線52番

機能訓練教室開設予定表 (昭和62年度分)

62年10月	9日(金)・16日(金)・23日(金)・30日(金)
11月	6日(金)・13日(金)・20日(金)・27日(金)
12月	4日(金)・11日(金)・18日(金)・25日(金)
63年1月	8日(金)・12日(火)・22日(金)・29日(金)
2月	5日(金)・12日(金)・19日(金)・26日(金)
3月	4日(金)・11日(金)・18日(金)・25日(金)

▶訓練の流れ



家庭看護のポイント

脳卒中になった人を、日々

介護している家族の方々に、家庭で看護するうえで心がけてほしい点をあげてみます。

①マヒした手足の回復だけに期待するのではなく、生活に必要な動作を覚えてもらうことに目的をおきます。一般に病気が長くなると、病人は何もできない、やっけてほしい、というような気持ちに陥りやすいので、そこを理解して感情的ないきかきをおこなないように注意しながら、上手に対処してください。

②病人本人が他の人によってもらうというだけでなく、少しでも自分からやるようにします。患者の個性を考えながら、介助の重点をおきます。

③病人本人ができないからといって、けなしたり、あきらめてしまわないでください。少しでもできることがあつたら大いにそれを認めてあげます。そして自然にやろうという気を起こさせる心配りが必要です。

④「もう齢だから」とか、「何年も寝たきりだから」と、あきらめないでください。人間だれしも潜在能力があるものです。少しでもできることを見つけ出して、その能力をのばしてあげるようにすることが、結局は介助者のためにもなります。

⑤たとえ歩けなくても、家族の一員としていたわり、励まし合って生活していくことができれば、ある意味では幸せな家族といえるかと思えます。毎日テレビとだけ向かいあっているような生活ではなく、「生きがい」のある生活をおくることができるように、何か目標を持ってもらうことがたいせつです。

から、家族自身でも、何か新しい発見や工夫をしてみましよう。

国民年金

コーナー

昭和六十一年四月に、法律が大きく改正された事は、すでに皆さんご存知と思いますが、改めてご紹介いたします。

国民年金に必ず加入しなければならぬ人は、日本国内に住所があり二十歳以上六十歳未満の人です。

加入者(被保険者)は次の三種類に区分されています。

被保険者の種類によって保険料の納付や給付の内容が異なりますのでご注意ください。あなたはどれに該当しますか。

▼第一号被保険者

自営業者、農林漁業者、自由業者などで現在、厚生年金保険や共済組合に加入していない二十歳以上六十歳未満の人たちです。

▼第二号被保険者

厚生年金保険(船員保険)や共済組合の加入者。

▼第三号被保険者

厚生年金保険(船員保険)や共済組合の加入者に扶養されている配偶者で、二十歳以上六十歳未満の人。

保険料

自営業者等の第一号被保険者は、保険料を二十歳から六十歳までの四十年間自分で納めることになっています。老齢基礎年金を受けるためには、この間に最低二十五年以上の保険料を納めることが必要です。保険料は昭和六十二年四月から、一ヵ月

定額保険料 七、四〇〇円
付加保険料 四〇〇円(第一号被保険者で希望する人) となっております。

保険料の納付方法

▼第一号被保険者

市町村役場から送付された納付書に基づいて、金融機関の窓口で納める方法があります。

当村の場合、国民年金の納付組織が五十九あり、月一回みなさまのお宅に、保険料の集金にうかがっています。

▼第二号・第三号被保険者

第二号被保険者の加入している厚生年金、共済組合から第三号被保険者の保険料と合わせて、拠出金としてまとめて支払われます。したがって国民年金の保険料を自ら納める必要はありません。

村民体育祭



第29回、村民体育祭は、8月9日、蓬田村総合運動場において開催されました。

当日は、好天に恵まれ、およそ千二百人の参加者があり、グラウンドは歓声と熱気につつまれました。結果は次のとおりです。

- 一位、長科
- 二位、郷沢
- 三位、広瀬

「二十一世紀の青森県を創るため、青年は今何をなすべきか」をみつめよう、考えよう、拓こうが郷土のテーマのもと、九月八日青森港を出港しました。この研修を終えて、感想を一言でいうならば「参加して本当に良かった」ということで尽きるでしょう。

小雨の降る故郷青森を我々の「につぼん丸」が出港してから十四日間に、船酔いの苦しさ、酒酔いの楽しさ、そして仲間との語りなど、今日



青年の船随想録① 本当の旅立ちはこちらから

佐井 浩行



を閉じると一つひとつの感動的で忘れ難いシーンが鮮明に浮かんできます。

船での生活は、朝六時半起床、夜十一時就寝ですが、そ

の間に講義、ゼミナール、クラブ、ディスカッション等の船内研修が行われ、他に、韓国、中国での寄港地研修、又、船内行事として外国青年との交歓会やパーティー、洋上運動会など一つひとつに言葉で表現できないものがありました。

韓国の勢い、中国での熱烈歓迎など体全体で外国を感じ、自国をそして平和を振り返りました。又、仲間との寝食を共にした生活の中で、団生

活の辛さと楽しさを共に振り返りました。

団長の知事が「今回の体験を生かし、明日の青森県が目指すふるさとづくりに参加して欲しい。それが私たちを送り出してくれた県民の願いである。」と言ったとおり本当の旅立ちはこちらからです。

我々は、無事に愛する蓬田へ帰って参りました。様々なところでこの経験を生かし、蓬田の青年として努力したいと思えます。

最後に、この素晴らしい機会を与えてくださった皆さまに心よりお礼申し上げます。謝辞（ありがとうございますました。）

子ども会駅伝大会



去る八月三十日子ども会主催の交通安全駅伝大会が開催され、駅伝大会終了後、交通安全を願うマスケットがドライバーに配られ喜ばれました。

駅伝大会の結果は、一位中沢、二位阿弥陀川、三位長科となりました。

公民館よりお知らせ

中央公民館では次の教室生を募集しています。参加希望の方は今からでも加入できますのでお知らせします。

◎陶芸教室生

昼の部 毎週火曜日
九時三十分より

夜の部 毎週月曜日
十八時三十分より

◎壮年講座教室生

村内に居住する三十歳から五十歳までの男の方を募集しています。働きざかりの貴方、皆さんで集っていろんな事を学習したり、話し合ってみませんか。

申し込みご希望の方は中央公民館へ連絡願います。

陸奥湾一周駅伝大会

―大健闘・村の部十五位―

第五回陸奥湾一周駅伝競
争大会は、十月四日午前七
時三十分むつ市を出発し、
午後三時三十分頃無事青森
市にゴールしました。

むつ市から青森市までの一
〇八キロメートルを十九人で

走る駅伝に、本村からは、実
行委員長坂本洋一さんほか二
十七名の選手団で臨みました。

選手は、何ヶ月も前から練
習に励み、大会前には、体調
を崩さないように睡眠時間や
食事に気を配り、ベストコン

ディションで大会に臨んでい
ます。それでも、スタート直前
には、緊張が高まり、まわり
の六十六人が自分より早く見
えて自信をなくしたり、自分
がタスキを次に渡さなければ
村の恥になるなどのプレッシ
ョンがかかりました。

このような苦痛を乗り越え
て世代間を越えた蓬田村選手
団のチームワークによって、
過去最高の総合五十四位、村
の部十五位という好成績を残
しました。



● 3区から4区へタスキリレー

10周年 婦人スポーツの集い



● 集団演技、あすなろの木

昭和五十二年のあすなろ
国体を契機に始まったこの
集いは、国体後も「二人ひと
りの力で豊かな郷土をつく
ろう」というスローガンの中
もとに毎年開催され、今年
で十周年を迎えました。十
月四日は、雲一つない絶好
の秋日和となり婦人の健康
増進とスポーツを通じた交
流が華やかにくり広げられ
ました。

蓬田村からは、代表佐々木
博子さんほか三十二名の参加
者があり、八月から約二ヶ月
間トレーニングセンターで練

習を積み重ねた成果を他市町
村婦人と共に披露しました。
今年の演技は、十年前のあ
すなろ国体を再現したもので、
時間も三十分以上かかるもの
でした。このため、練習も毎
週二日間行われ、仕事に疲れ
たあとの練習は、きつかった
ことと思いますが、各家庭の
協力と自らの努力により開い
た花は、口では言い表わせな
い程すばらしいものでした。
集いでは、十周年を記念し
県内市町村の婦人の想い出を
文集にするとのことですので
楽しみにです。

読書の秋です

一人二冊運動に協力を

中央公民館では一人一冊運
動を進めています。図書室に
は児童図書二、九〇〇冊、一
般図書二、〇〇〇冊、県図書
六〇〇冊の蔵書があり皆さん
のおいでをお待ちしております。
日中来館できない方は連
絡下されば郵送いたします。

体育協会スキー部では会員
を募集しております。

主な事業は次の通りです。

- 一、会員のスキー技術講習会
- 一、スキーツアー（ニセコ、安比、田沢湖ほか）

集 一部員スキー協体

本村にも昨年よりス
キー場が開設され、
パトロール等に多忙
を極めている現状で
す。スキー愛好者の皆
さん老若男女を問いま
せん。初心者大いに結
構、君の加入を待つて
います。

● 連絡先 蓬田村役場内

スキー部事務局

坂本 亮

昭和61年度決算認定される

昭和61年度決算は9月26日第3回定例議会の最終日で認定されました。

普通会計（一般会計十給食センター特別会計）において歳入で11・6%の増、歳出で11・1%の増となっています。

◇歳入

歳入において、新農業構造改善事業等の増により県支出金が増加し、津軽海峡線取付道路、河川改修事業等により

繰入金及び村債が増えています。

また、歳入に占める自主財源は、4億7700万円で25・7%となっています。

◇歳出

本村の主産業である農業の基盤整備や、ライスセンター建設事業などにより農林水産業費が高く、また、河川改修事業、排水路整備事業及び津軽海峡線取付道路事業などが計上された土木費が大幅な増加

となっております。

決算を性質別にみると、各種建設事業の投資的経費が38・0%、人件費が28・5%、公債費9・2%、以下、物件費、補助費等となっております。

また、公衆浴場再開のための公用施設整備基金として1、000万円が積立てられております。

歳 入	
〔1,854,477千円〕	
地方交付税	44.0%
815,878千円	
県支出金	17.5%
323,811千円	
村 債	9.4%
174,200千円	
繰 入 金	9.0%
166,667千円	
村 税	8.9%
165,622千円	
国庫支出金	3.4%
63,297千円	
諸 収 入	2.6%
48,707千円	
地方譲与税	1.4%
25,223千円	
繰 越 金	1.3%
24,092千円	
使用料・手数料	1.0%
19,354千円	
自動車取得税交付金	0.8%
15,408千円	
財産収入	0.5%
9,288千円	
分担金及び負担金	0.2%
2,930千円	

●村税の収入状況●

市町村民税	61,759千円	37.3%
固定資産税	76,318千円	46.1%
軽自動車税	3,288千円	2.0%
市町村たばこ消費税	16,815千円	10.1%
電 気 税	6,845千円	4.1%
木材引取税	597千円	0.4%

38,365千円
村民1人当たり負担額

▼特別会計

その他36,677千円(10.8%)

国民健康 保 険 税 140,881千円 (41.3%)	国・県支出金 163,319千円 (47.9%)
---------------------------------------	--------------------------------

歳 入 [340,877千円]

国民健康保険特別会計

歳 出 [322,284千円]

保 険 給 付 費
224,079千円
(69.5%)

老人保健拠出金 83,280千円 (25.9%)

その他 14,925千円 (4.6%)

一般会計繰入金 14,815千円 (6.6%)

国・県支出金 55,796千円(25.0%)

支払基金交付金
152,881千円
(68.4%)

歳 入 [223,492千円]

老人保健特別会計

歳 出 [214,424千円]

医 療 諸 費
212,817千円
(99.3%)

繰上充用金 1,321千円 (0.6%)

総務費外 286千円 (0.1%)



▶普通会計歳入歳出決算

歳 出
〔 1,805,118千円 〕

・ 議員報酬……………29,246千円	議 会 費
・ 議員活動費…………… 6,474千円	50,832千円
・ 積 立 金……………55,000千円	2.8%
・ 財 産 管 理……………20,897千円	総 務 費
・ 交通安全対策…………… 1,691千円	259,294千円
・ 老人福祉費……………20,164千円	14.4%
・ 保 育 所……………61,854千円	民 生 費
・ 児 童 館……………11,437千円	130,729千円
・ 蟹田地区環境整備組合負担金	7.2%
……………22,863千円	衛 生 費
・ 老人保健事業…………… 8,042千円	65,051千円
・ 婦人の健康づくり…………… 1,237千円	3.6%
・ 労働者協議会補助金…………… 135千円	労 働 費
・ トレーニングセンター建設… 138,028千円	367千円
・ 堆肥センター建設……………21,869千円	0.0%
・ ライスセンター建設…………… 154,959千円	農 林 水 産 業 費
・ ため池整備……………16,096千円	507,562千円
・ 農免農道…………… 8,263千円	28.1%
・ 集団間伐…………… 3,543千円	商 工 費
・ 沿岸漁業振興対策…………… 3,248千円	4,796千円
・ 商工会補助金…………… 1,450千円	0.3%
・ 板木沢川改修……………48,812千円	土 木 費
・ 漁港改修…………… 9,780千円	241,996千円
・ 蓬田川改修……………29,376千円	13.4%
・ 広瀬地区排水路……………11,534千円	消 防 費
・ 海峡線対策……………61,743千円	64,809千円
・ 防波突堤移設…………… 2,600千円	3.6%
・ 除排雪費…………… 7,799千円	教 育 費
・ 防火水槽……………15,702千円	259,338千円
・ モーターサイレン…………… 1,770千円	14.4%
・ 広域消防負担金……………32,171千円	災 害 復 旧 費
・ 小 学 校……………52,051千円	54,161千円
・ 中 学 校……………25,643千円	3.0%
・ 幼 稚 園……………15,526千円	公 債 費
・ 学校給食費……………57,052千円	166,183千円
・ スキー場建設……………15,799千円	9.2%
・ 河川災害……………32,962千円	
・ 農地等災害……………21,199千円	
・ 元 金……………93,060千円	
・ 利 子……………73,123千円	

第7回蓬田村民祭 プログラム決まる

11月7(土)・8日(日)

パソコンもでき、
楽しさいっぱいの村
民祭企画がかたまり
ました。

第七回蓬田村民祭実行委員会(坂本祐一委員長)は、十月二日今年度の村民祭について、「創造」をテーマに細部にわたる計画を決めました。昨年度は、農業者トレーニングセンター一館開催でしたが、今年度は蓬田中学校体育館との二館開催となりました。会場にお出での皆さんが参加できる催しにもひと工夫し、竹トンボ大会、パソコンコンクール、ゆでタマゴ早食い競争、げんこつ大会、村のギネス、カラオケ大会、メゴコ・コン

テストなどと内容充実につとめていきます。
ラジオコングライダー・デモフライトもあらたに予定し、多数のご来場を待っています。

●昨年の展示



村民祭のご案内

テーマ 創造

……明るい未来 みんなで
創る 豊かな村……

主催 蓬田村
主管 第7回蓬田村民祭実行委員会

◆展示

▶日時 11月7日 12:00~18:00
8日 9:00~14:00

▶場所 蓬田中学校体育館

▶内容 文化財展 文芸展 盆栽展
写真展 コレクション展
ビデオ・コーナー 農産物
共進会 発明工夫展 実演
会 生花 etc

※お茶会……7日のみ

◆催事

▶日時 11月8日 10:00~16:00

▶場所 蓬田村農業者トレーニングセンター

▶内容 健康展 アトラクション
(登山ばやし・民謡手踊り)
生バンド・青年会演劇 婦
人会仮装大会・カラオケ)
ホタテ貝加工品展示 商工
会出店 婦人会食堂 etc

◆物産品即売会

▶日時 11月8日 10:00~

▶場所 蓬田中学校体育館入口

◆生鮮魚即売会

▶日時 11月8日 10:00~

▶場所 蓬田村農業者トレーニングセンター玄関前

女性行政相談委員誕生

張間キヨさんに委嘱



青森行政監察事務所では、行政に関する苦情の相談に応じるため、8月、長科の張間さんに行政相談委員を

委嘱しました。

相談は無料で、口頭、電話、手紙でもかまいません。

相談員は、秘密を守り、親身にお世話することになっています。気軽に相談を!

張間さんの電話番号は ☎27-2432です。

不ねん障害 冷害対策本部設置



●議会 作柄状況視察

心配された冷害に、また今年も見舞われました。

9月18日農業委員会の調査で、ところによっては4割減収の恐れがあるという結果が出たため、翌19日急ぎ冷害対策本部を設置し、今後の対策を練ることになりました。

地震だ! 避難訓練

九月十六日、東北に二台しかないという起震車(地震の状況を体験できる自動車)を使った避難訓練が蓬田小学校で実施されました。
上級生は下級生の安全に気を配り、真剣そのものでした。



●震度5……それ机の下に



No. 7

がんばる

中川 亮一郎さん
郷沢

肉牛飼育を夫婦で

国道280号線、郷沢公民館の筋向かいに中川商店というあまり大きくない雑貨屋がある。

店の脇を通り抜け、奥へ進むと何やらなつかしいにおいがブーンとくる。動物特有のにおいと、いわゆる堆肥のにおいである。



談話室

は、五頭の子牛だけがいた。ほかの牛は、村の牧場に預けられている。

中川さんは、水田三・三ヘクタール、トマト十アール、シイタケ栽培、十三頭の肉牛飼育、それに商店と多角経営に挑戦している。

本人は違うというが、聞くところによると、それぞれ立派にこなしている。

今は、特に肉牛飼育に力をいれているようだ。

その評価は高い。村の畜産共進会の成績を見ると、それはすぐ分かる。中川さんが手塩にかけた子牛達がいく度かチャンピオンになっている。

第一回はメス、第二回はオス、そして今年の第四回はメスがそれぞれ見事県知事賞に輝いた。これは、簡単に達成できる業績ではない。

第一に、牛が何よりも好きでないとこうはならない。それも、家族の理解がぜひ必要だ。そうすれば、おのずと技術が伴ってくる。後は、努力努力だ。こんな条件に中川さんはまさにピッタリ。

若い頃、長い年月馬と共に暮らしていたのだ。そして、奥さんはご主人より動物好き、特に牛が大好きなのです。

中川さんは、今日も頑張る。

五穀豊穰無病息災祈願 ついたち山を かける！

旧暦の8月1日、岩木山に集団登山し豊作を祈願するお山参詣という行事があります。

今年、わが村では阿弥陀川（代表八戸一郎・36名）が山かけをしました。サイギサイギの掛け声勇ましく全員無事登頂し、ご来光を拝みました。



ミス青函博来庁



去る8月15日、ミス青函博の窪田恵美子さん（23才）とキャンペーンガール2人が役場を訪れました。

来年アスパムで開催される青函トンネル開通博覧会の成功を記すため、北村知事のメッセージを持参したものです。

みつけた

農協ガソリンスタンド向かいに、僕は立っています。

ドライバーの皆さん、蓬田村は、今交通死亡事故0の日が七百日以上続いています。

気をつけて、運転してね！
僕の親は、長科松山会の皆さんです。仲間がほしいな！



戸籍の窓



人口と世帯数
(9月30日現在)

総人口 4,316人
男 2,079人
女 2,237人
世帯数 1,049世帯

4月～9月受付分

お誕生おめでとうございます

泉 幸佑 (憲光・長男)
大宮亜由美 (英城・長女)
石田 明信 (孝信・4男)
山館 誠矢 (輝久・長男)
久慈 達也 (聡・長男)
青木 香織 (義明・長女)
坂本 宣仁 (信義・長男)
藤本 結子 (伸明・2女)
工藤 泰三 (光雄・3男)
柿崎 勇太 (裕二・長男)
小林 志穂 (幸市・長女)
越田 史也 (正志・長男)
川崎 琢也 (幸治・長男)
豊岡 未央 (博司・2女)

ご結婚おめでとうございます

(若佐谷政人 (青森市)
坂本百合子 (長科)
久慈 孝弘 (広瀬)
張山 昭子 (蟹田町)
渡嘉敷真憲 (沖縄県)
太田 幸 (広瀬)
山田 均 (青森市)
中村 尚子 (阿弥陀川)
松本 武秋 (長科)
米村登美子 (常盤村)
成田 優二 (五所川原市)
泉 章子 (中沢)
山形 泰正 (青森市)
吉田 英子 (中沢)
横内 勝 (阿弥陀川)
工藤美代子 (青森市)
大川 誠治 (広瀬)
木村 仁美 (瀬辺地)
古川 朗 (蓬田)
伊藤 啓子 (青森市)
大宮 裕保 (郷沢)
村上富士美 (青森市)
浅利 透 (浪岡町)
木村 桑子 (瀬辺地)
小松 節雄 (蓬田)
赤坂ひふみ (青森市)
村上 利男 (蓬田)
石川さち子 (青森市)
福士 晃 (郷沢)
白川 昌子 (青森市)
岩崎 康年 (和歌山県)
室谷美恵子 (蓬田)

(木浪 弘巳 (蟹田町)
青木 光子 (阿弥陀川)
川内 正広 (阿弥陀川)
須藤真理子 (青森市)
千葉 雅明 (岩手県)
乳井 公子 (蓬田)
佐藤 明夫 (青森市)
大宮とし子 (郷沢)
中村 忠範 (青森市)
青木 弘子 (阿弥陀川)

おくやみ申し上げます

工藤 義雄 (郷沢・73歳)
乳井やつよ (蓬田・57歳)
細谷 勝春 (蓬田・62歳)
青木 トク (阿弥陀川・84歳)
青木 ちや (蓬田・69歳)
工藤政太郎 (蓬田・80歳)
越田 きそ (瀬辺地・91歳)
櫛引 貞慶 (中沢・70歳)
細谷 サナ (蓬田・82歳)
北川 千セ (瀬辺地・82歳)
細谷興三郎 (蓬田・82歳)
川崎 さつ (広瀬・55歳)
坂本 彌作 (中沢・81歳)
小鹿美之男 (阿弥陀川・76歳)
長内 将二 (長科・53歳)
森 智義 (阿弥陀川・68歳)
坂本 登 (中沢・50歳)
稲葉 サト (高根・74歳)
坂本 ツギ (中沢・76歳)

編集後記

8月1日の人事異動で、あまりにも突然に広報を担当する事になって、今もまだぼうぜんとしています。

今回は、どうすればどんな広報が出来上がるのか全くわからないままに発行されました。

初心者マーク付きです。ご協力を!

▼参事・総務課長兼選挙管理委員会事務局長(参事・学務課長)川崎正敏 総務課長補佐兼企画係長(社会教育課長補佐)八戸通正 ▼出納室補佐(民生課長補佐兼民生係長)稲葉慶則
▼民生課長(議会事務局)吉崎良一 同補佐兼民生係長(農林水産課長補佐)坂本重雄 同年金係長(同農政係長)越田守 同主査(同主査)柿崎真人 ▼税務課長(農林水産課長)坂本忠弘 同主査(民生課主査)浜田亮 ▼農林水産課長兼農業者トレーニングセンター所長兼農業委員会事務局(保育所)中川信義 農林水産課補佐(税務課長補佐兼税務係長)小鹿義晃 同農政係長(民生課国民健康保険係長)久慈義明 同主査(選挙管理委員会書記兼総務課主査)越田茂弘 ▼議会事務局(民生課)田中勝家 ▼学務課長(税務課長)小野富士雄 ▼社会教育課長補佐(総務課長補佐兼企画係長)久慈修一 ▼保育所長(総務課長補佐兼企画係長)員会事務局)小松虎雄 ▼選挙管理委員会書記兼総務課主事(総務課主事)坂本勲 ▼児童館兼老人憩の家用務員(給食センター調理員)青木百合子 ▼給食センター調理員(児童館兼老人憩の家用務員)小松きみ

村職員人事異動発令

(八月一日)